

高校地理プリント（過去問類似）  
地理B（旧課程の過去問） No.9

名前

得点

/10

問1 宮崎県南部の日南海岸沿いを通る幹線道路は、急峻な山地が海に迫る地形的特徴をもつ。この地域において、梅雨や台風などの多雨期に、大雨によって斜面が崩壊し、道路の通行止めを引き起こす主たる自然災害の総称を何というか。 (2019年 全国公立入試 類似)

1. 土砂災害                      2. 火山災害                      3. 津波災害                      4. 地震災害

問2 1960年代以降、アジアなどの発展途上国において、食料生産を飛躍的に増大させる「緑の革命」が推進された。この際、高レベルの施肥や灌漑施設の整備と組み合わせて導入され、米や小麦の生産性向上に大きく貢献した、交配によって育成された作物の総称を何というか。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. 多収量品種                      2. 耐乾性品種                      3. 耐冷性品種                      4. 耐病性品種

問3 西アジアに位置し、ペルシャ湾の北西部に広がる広大な沖積平野である。この平野は、トルコ東部に源流を持つ2つの大河の堆積作用によって形成され、その大部分が標高200メートル未満の低地となっている。古代文明の揺籃の地としても知られるこの平原の名称を答えよ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. インドス平原                      2. メソポタミア平原                      3. ヒンドウスタン平原                      4. ガンジス平原

問4 フランス南部の学術研究都市であるトゥールーズにおいて、ヨーロッパ各国で分業生産された主翼や胴体などの部品を集めて最終組立てが行われている、先端技術産業を代表する輸送用機械器具を答えよ。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 自動車                      2. 医薬品                      3. 航空機                      4. 化学品

問5 北アメリカ大陸において、同緯度帯であっても西岸に比べて内陸部では、海洋の影響が及びにくいいため、冬の冷え込みが厳しく夏の気温が高くなり、気温の年較差が非常に大きくなる。このような気候特性を何というか。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 山岳性気候                      2. 大陸性気候                      3. 内陸性気候                      4. 海洋性気候

問6 19世紀の産業革命期において、ドイツ西部のルール地方に位置し、豊富な石炭資源を背景に重工業が興り、急速に発展した工業都市の名称を答えよ。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. エッセン                      2. イェーナ                      3. ボーフム                      4. カッセル

問7 南アメリカ大陸の北西部に位置し、地理的に北アメリカ大陸に近いことから、輸出入ともにアメリカ合衆国が最大の貿易相手国となっており、同国への貿易依存度が非常に高い特徴を持つ国はどこか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ウルグアイ                      2. エクアドル                      3. パラグアイ                      4. コロンビア

問8 自然災害による被害の大きさ (R) は、[ イ ]、曝露 (E)、脆弱性 (V) の積で表される。海溝付近で発生する地震に備えて、学校から最も近い海溝の位置や過去の地震の発生履歴を調べることは、これら三つの要素のうち、[ イ ] の把握に直接つながる。[ イ ] に当てはまる語句として最も適当なものを、次のうちから一つ選べ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 脆弱性                      2. 回復力                      3. 危険源                      4. 対処力

問9 福岡市北部に位置し、沿岸流や波の作用によって形成された砂州によって九州本土と接続している、古代に「漢委奴国王」の金印が発見されたことで知られる陸繋島を何というか。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. 志賀島                      2. 男鹿島                      3. 能登島                      4. 江の島

問10 近世の武蔵野台地などの新田開発においてよく見られる、主要な交通路に沿って家屋が並び、それぞれの家屋の背後に細長い短冊状の耕地が規則的に配置された伝統的な集落形態を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 塊村                      2. 路村                      3. 散村                      4. 街村

## 答え合わせ・解説 No.9

問1	<b>答え 1</b> 土砂災害	日南海岸沿いは急峻な山地が海岸線に迫る地形であり、等高線が密な急斜面の下を道路が通っている。このため、梅雨や台風などの多雨期に大雨が降ると、斜面が不安定になり、崖崩れや土砂崩れなどの災害が発生しやすくなる。これが道路の通行規制（通行止め）の主な要因となる。高潮による冠水や波浪による侵食が主たる通行止めの原因ではない。
問2	<b>答え 1</b> 多収量品種	「緑の革命」では、従来のもとの在来種に比べて単位面積あたりの収穫量が非常に多い作物の開発・普及が行われた。これが多収量品種（高収量品種）であり、特にアジアの稲作地域などで米の生産量を劇的に増加させ、食料自給率の向上に貢献した。
問3	<b>答え 2</b> メソポタミア平原	ティグリス川とユーフラテス川の2河川による堆積作用で形成された沖積平野であり、大部分が標高200メートル未満の低地である。この地域は肥沃な三日月地帯の一部を構成し、古代文明が栄えた。
問4	<b>答え 3</b> 航空機	トゥールーズでは、ヨーロッパ共同開発（エアバス社）による航空機の最終組立てが行われている。主翼はイギリス、胴体はドイツやフランス、尾翼はスペインなど、ヨーロッパ各地で分業生産された巨大な部品が、専用の輸送船や輸送機でトゥールーズに集められて組み立てられる。
問5	<b>答え 2</b> 大陸性気候	海洋から離れた大陸内部では、比熱の小さい陸地の影響を強く受けるため、冬は急速に冷却し、夏は急速に温暖化する。このため、気温の年較差が非常に大きくなる気候特性を大陸性気候（または大陸性）と呼ぶ。北アメリカ大陸の内陸部や東岸では、西岸に比べてこの気候特性が強く現れるのが特徴である。
問6	<b>答え 1</b> エッセン	ドイツのルール地方に位置するこの都市は、背後に広がる豊かな炭田を利用して、鉄鋼業や機械工業などの重化学工業が発達した。特にクルップ社に代表される製鉄・兵器製造業の拠点として、近代ドイツの経済を支える中心的な都市へと急成長を遂げた。
問7	<b>答え 4</b> コロンビア	コロンビアは南アメリカ大陸の北端に位置し、カリブ海や太平洋に面して北米に近い地理的条件を備えています。そのため、歴史的・経済的にアメリカ合衆国との結びつきが強く、同国が最大の貿易相手国となっています。
問8	<b>答え 3</b> 危険源	海溝の位置や過去の地震活動の履歴を調べることは、自然現象そのものが持つ危険性や発生確率、すなわち危険源（ハザード）を理解するための行動である。これは、危険にさらされている人や資産の量を減らす「曝露」の削減や、建物の耐震化などの「脆弱性」の克服とは異なり、災害をもたらす要因そのものの性質を把握することに該当する。
問9	<b>答え 1</b> 志賀島	福岡県にある志賀島は、陸繋砂州（海の中道）によって九州本土と繋がった典型的な陸繋島である。歴史的には、1784年にこの島から「漢委奴国王」と刻まれた金印が出土したことで広く知られている。
問10	<b>答え 2</b> 路村	近世の新田開発、特に武蔵野台地などの畑作新田では、計画的な開拓が行われた。道路に沿って家屋が並び、その背後に細長い短冊状の耕地（畑や平地林）が配置される形態は路村と呼ばれる。これにより、各農家が道路へのアクセスと自らの耕地への直結性を両立させることができた。これに対し、塊状に家屋が集まるものは塊村、家屋が分散しているものは散村と呼ばれる。